



「カ」にさされるとなぜかゆいの

血がかたまるのを防ぐものを、皮ふに入れられるから

カが人間をさすのは、人間の血を吸うためですが、カは、さしたときに、針の先から血がかたまるのを防ぐものを、まず出しているのです。血は、血管の外に出ると、かたまる性質をもっていますから、そのまま血を吸うと、針(吸管)の中でかたまってしまい、血を吸えなくなってしまうのです。そうならないように、血がかたまるのを防ぐものを、まず皮ふに入れておいてから、カは、血を吸うのです。この、血がかたまるのを防ぐものが、「かゆみ」の原因なのです。

しかし、なぜ人間が、カにさされて、この、血がかたまるのを防ぐものを、皮ふに入れられると、かゆく感じるのかについては、まだ、わかっていないのです。

「カ」にさされやすい人は

カは、汗をかいて、水蒸気が立ち上がっているはだや、口やはだから出る二酸化炭素・乳酸を、びん感に感じとり、人に近づいて、人の体温を感じとって確かめ、さします。

というわけで、汗かきの人や、体温の高い人はさされやすく、赤ちゃんも体温が高いため、よくさされるのです。(監修・保志 宏)

